

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京情報クリエイター工学院専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (工業関係)	情報処理学科	夜・通信	1, 860時間	80×2=160時間	
	クリエイター学科	夜・通信	2, 040時間	80×2=160時間	
	一年制専攻学科	夜・通信	720時間	80×2=160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の实務経験に関するチェック欄あり。 掲載： <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京情報クリエイター工学院専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 掲載： <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	法人運営における法 務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代 表	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京情報クリエイター工学院専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><b>【作成について】</b> 各学科・コースの授業科目は、年間2回開催される「教育課程編成委員会」にて、外部委員(業界団体・企業から参加)からの意見を参考に、学内の主幹教員から構成される教育プロジェクト委員会で、授業科目の設定・講義内容の検討・検証の基づき策定される。</p> <p>その上で、学内の教員用内規(シラバス作成方法)の中で、授業科目名、必要時間数、授業概要、達成目標、教科書、授業計画、評価方法等に関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p><b>【時期について】</b> 授業計画は、授業開始時期の前々年度12月までに策定され、その後、前々年度末に校長承認によって正式決定する。正式決定されたものは授業開始前までにシラバスをHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	掲載： <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件を規定している。成績評価は、各授業科目の定期試験、効果測定、課題提出により成績評価を行っている。なお、学生に対しては学生便覧を用いて周知を図っている。

【参考】学則より抜粋

(試験)

第 16 条 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によってこれを定める。ただし、授業科目によっては、その他の方法で査定することができる。

2. 試験には定期試験、追試験および再試験等がある。追試験はやむを得ない事故等により定期試験を受けなかった者に対して行い、再試験は受験の結果、不合格となった者のためにこれを行う。
3. 追試験および再試験は、本校において必要と認めたとときに限りこれを行う。

(学業成績)

第 17 条 学業成績の判定は、優、良、可、不可の 4 種をもってこれを表し、優は 80 点以上、良は 60 点以上、可は 50 点以上、不可は 49 点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。

(卒業・称号の付与)

第 19 条 本校に在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目について各学年末における試験に合格して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。

- (1) 情報処理学科 1, 800 時間
  - (2) クリエイター学科 1, 800 時間
  - (3) 1 年制専攻学科 900 時間
2. 前項に規定するところにより、次の各号に掲げる課程の学科を修了した者に対し、該当各号に定める称号を授与するものとする。
- (1) 情報処理学科 専門士 (工業関係専門課程)
  - (2) クリエイター学科 専門士 (工業関係専門課程)

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、各授業科目に行う定期試験のほか、授業科目により単元テスト、答案練習、授業内に行う効果測定、課題の提出等を授業計画書（シラバス）記載の評価方法に基づき、履修科目の成績評価の点数化を行う。科目ごとの得点を各学科・学年・クラスごとにまとめるとともに、各学生の全科目の平均点を算出する。</p> <p>客観的な指標は、各学生の平均点の一覧化データを作成するとともに、100点より10点ごとの指標に応じた成績分布図を作成。このデータ及び分布図を用いて、各学生が所属する学科の中でどの位置にいるかを確認する。</p> <p>成績評価方法については、HPで公開するほか、入学時オリエンテーションで入学した学生に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>掲載：<a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東京情報クリエイター工学院専門学校は、「感奮興起」という建学の精神のもと、情報処理及びクリエイター並びにこれらビジネスに関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な産業人を育成することを目的としている。</p> <p>卒業認定については、各学科が以下に定めた卒業に必要な授業時間数を履修し成績の評価を受けた者に対し卒業を認めると定めている。</p> <p>(1) 情報処理想科                    1, 800時間  (2) クリエイター学科                1, 800時間  (3) 1年制専攻学科                    900時間</p> <p>尚、卒業認定の要件は、入学時に配布する「学生便覧」に記載して学生に周知するとともに、ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）を策定し、HP上で公開している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>掲載：<a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京情報クリエイター工学院専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している 掲載： <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf</a>
収支計算書 又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による 監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1) 情報処理学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
専門課程 (工業関係)		専門	情報処理学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	360 単位 時間	270 単位 時間	1,890 単位 時間	単位 時間	単位 時間
			2,520 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		121人	6人	7人	0人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 学修支援としては、個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。また、授業終了後の放課後には、教室、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
※卒業学年在籍なし 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) システム開発系、ネットワーク系、アプリケーション開発系等のIT業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>学科責任者及びクラス担任が中心となり、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育プログラムとして計画的に実施している。具体的には履歴書やエントリーシートの書き方、適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接等を実施している。</p> <p>また、学園就職部を中心に業界の求人獲得に努め、企業紹介を行うとともに、学内業界研究セミナーを開催している。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>基本情報技術者試験、日本ビジネス技能検定主催漢字検定2級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>※現時点での退学者は0人のため、理由はなし。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を、日々のクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、必要に応じて保護者と情報共有しながら、連携をとることで退学防止に努めている。</p>		

(2) クリエイター学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
専門課程 (工業関係)		専門	クリエイター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	345 単位 時間	435 単位 時間	2,775 単位 時間	単位 時間	単位 時間
			3,555 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	89人	1人	6人	7人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 学修支援としては、個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。また、授業終了後の放課後には、教室、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
※卒業学年在籍なし 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、CG・映像制作業界、Web・デザイン業界			
(就職指導内容) 学科責任者及びクラス担任が中心となり、全学科共通の「就職活動リテラシー (必修)」という科目を通じて、就職活動の準備を教育プログラムとして計画的に実施している。具体的には履歴書やエントリーシートの書き方、適性検査、就職模擬試験 (筆記			

<p>試験)と模擬面接等を実施している。</p> <p>また、学園就職部を中心に業界の求人獲得に努め、企業紹介を行うとともに、学内業界研究セミナーを開催している。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>CG-ART検定、色彩検定、日本ビジネス技能検定主催漢字検定2級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>※現時点での退学者は0人のため、理由はなし。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等)を、日々のクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、必要に応じて保護者と情報共有しながら、連携をとることで退学防止に努めている。</p>		

(3) 一年制専攻学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
専門課程 (工業関係)		専門	一年制専攻学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	900 単位時間/単位	30 単位 時間	150 単位 時間	1,080 単位 時間	単位 時間	単位 時間
			1,260 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		0人	0人	2人	0人	2人	

※一年制専攻学科は、情報処理工学、クリエイター学科を卒業した者であるため、在籍は令和3年4月からとなる。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 学修支援としては、個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携等を実施している。また、授業終了後の放課後には、教室、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
※卒業学年在籍なし 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) システム開発系、ネットワーク系、アプリケーション開発系等のIT業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>学科責任者及びクラス担任が中心となり、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育プログラムとして計画的に実施している。具体的には履歴書やエントリーシートの書き方、適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接等を実施している。</p> <p>また、学園就職部を中心に業界の求人獲得に努め、企業紹介を行うとともに、学内業界研究セミナーを開催している。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>特になし</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>※現時点で在籍者は0人のため、理由はなし。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）を、日々のクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、必要に応じて保護者と情報共有しながら、連携をとることで退学防止に努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報処理学科	200,000 円	680,000 円	540,000 円	
クリエイター学科	200,000 円	680,000 円	600,000 円	
一年制専攻学科	200,000 円	680,000 円	540,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 評価について学校HPで公開している。 掲載： <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、次への改善に繋げる</li> <li>・学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれた信頼された学校作りを進める</li> <li>・校長は学校関係者評価の結果をもとに適切な支援や条件整備等の改善措置を講ずる</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 主査	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	業界団体
株式会社 NSD 取締役専務執行役員	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	企業
株式会社 ラック サイバー・グリッド・ジャパン 理事	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	企業
株式会社 サイド・シー 代表取締役	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	学園卒業生
公益財団法人 CG-ART協会 教育事業部 課長	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	業界団体
株式会社SYNK 取締役	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	企業
株式会社セザックスクリエイティブ Creative Director 課長	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	企業
株式会社養鶏場 代表取締役社長	2019. 4. 1 ～2021. 4. 1	学園卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 評価についてHP上に公開している。 掲載： <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/">https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 大原学園グループ 掲載： <a href="https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/">https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</a>
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。